



2016.11  
No. 89

# きくよう

(題字：武蔵ヶ丘小学校 六年 小嶋 倫加さん)



## 主な内容

平成27年度決算の状況	P 2・3
案件の内容及び議員の賛否	P 4・5
常任委員会からの報告	P 6・7
一般質問(4人)	P 8・9
災害復興支援特別委員会の動き	P10・11
マイタウンなど(光の森・被災者支援)	P12・13
被災地支援と仮設団地の声	P14



菊陽町議会フェイスブック  
携帯電話で上記の2次元コード  
を読み取るとアクセスできます。

菊陽町 議会

# 町財政は健全状態

## 平成27年度決算認定される

平成28年第3回菊陽町議会定例会（9月議会）は9月2日から同月13日まで開会された。認定5件、議案8件、報告2件が上程され、全てが認定、可決及び了承された。

中心となった案件は平成27年度決算で、賛成多数により認定された。本誌では、主に監査委員と決算審議の報告を通して本町の財政の現状を分析してみた。

まず、歳入（収入）の構成は以下に見るように、わが町の財政は他の自治体等に比べて、自主性・独立性の高いものとなっている。

### 歳入

### （本町財政）自主財源の比率が高い

☆自主財源《町が自力で調達できる財源》と依存財源《国・県等に頼る財源》

自主財源			依存財源		
種別	収入済額【円】	割合	種別	収入済額【円】	割合
町税	6,166,638,033	43.16	国庫支出金	1,906,389,228	13.34
繰越金	812,957,767	5.69	町債	1,432,900,000	10.03
分担金	379,099,276	2.65	県支出金	922,495,454	6.46
財産収入	305,984,223	2.14	地方交付税	782,171,000	5.47
繰入金	234,000,000	1.64	地方消費税交付金	729,849,000	5.11
使用料手数料	157,225,386	1.10	地方譲与税	198,997,000	1.39
諸収入	124,011,940	0.87	地方特例交付金	35,757,000	0.25
寄付金	3,006,000	0.02	その他	89,697,476	0.68
計	8,182,922,625	<b>57.27</b>	計	6,104,459,858	<b>42.73</b>
合計	14,287,382,483 (100)				

（監査委員審査意見書より）

### 県・全国は依存財源の比率が高い

H26年度	熊本県	全国
自主財源比率	35.2	48.0
依存財源比率	64.8	52.0

本町は平成27年度、県・国は平成26年度の数字であるが、過去4年間を見ても、自主財源と依存財源の比率はいずれもほぼ同じような比率で推移している。

## ◆財政の強弱及び柔軟性をはかる主要財政指標の年度別推移

(監査委員審査意見書より)

	財政力指数	経常収支比率	公債費負担比率	標準財政規模 (千円)
H23	0.92	84.5	15.8	7,967,798
24	0.91	82.9	16.2	8,116,364
25	0.93	84.7	12.6	8,202,017
26	0.93	81.7	13.1	8,160,076
27	0.92	83.1	16.1	8,258,992

### 【上記の表の説明】

#### ◎財政力指数

財政力の強弱を示す。1に近いほど財源に余裕がある。

#### ◎経常収支比率

低ければ低いほど、財政の弾力性（新規事業等を起こす能力）は大きい。優れた財政構造である。

インフラ未整備時代には70～75%が望ましいとされていたが、現在では類似団体の平均値は88.4%である。

#### ◎公債費負担比率

公債費（借金）がどの程度一般財源の使い道の自由さを制約しているかを見る指標で、財政構造の弾力性をはかるものである。

15%以内が望ましい。

#### ◎標準財政規模

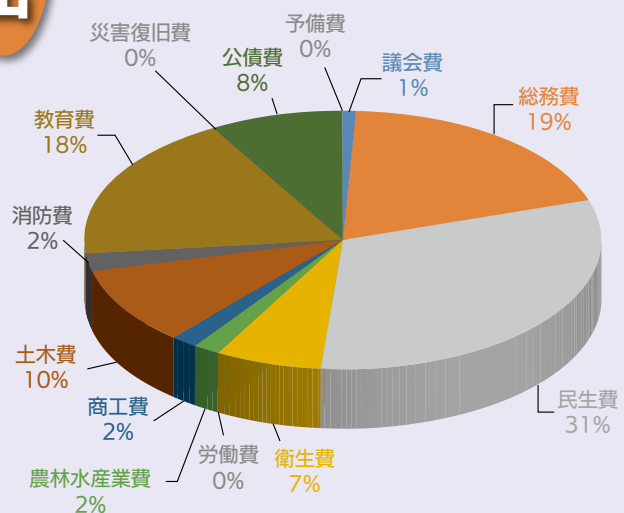
地方公共団体が普通の状態で見込める財源の規模を示す。町税・地方譲与税・各種交付金・普通交付税・臨時財政対策債等の合計額。

財政の強さと柔軟性も基準以上

## 民生費・教育費・総務費・公債費 土木費で歳出の84%

歳出

### 平成27年度支出構成比



### 平成27年度分野別支出額及び構成比

支出費目別	金額 (円)	構成比
議会費	127,194,873	0.9
総務費	2,824,139,900	19.1
民生費	4,651,682,663	31.5
衛生費	989,618,014	6.7
労働費	3,312,954	0.0
農林水産業費	233,913,090	1.6
商工費	245,349,220	1.7
土木費	1,424,465,630	9.7
消防費	359,402,120	2.4
教育費	2,703,059,850	18.3
災害復旧費	13,460,831	0.1
公債費	1,183,028,465	8.0
予備費	0	0.0
合計	14,758,627,610	100.0

### 【町監査委員の主な指摘】

◎本町の財政は他自治体に比べて強く、柔軟性があるが、国の施策の動向（新3本の矢・臨時財政対策債など）に配慮した運用が望まれる。

◎平成28年度は、熊本地震による災害復旧・復興費が入ってくるが、地方債発行は財源が補償されているものではないので、注意を要する。

# 全案件を可決

今回上程された案件は、認定5件、議案6件、報告2件、発議1件、選挙1件の15件であった。平成28年熊本地震による復旧・復興関係の議案は6月定例会とその後の2回の臨時会で審議されたので、9月定例会は通常どおり平成27年度決算の審議が中心となった。会期は9月2日から同月13日まで。

◇認定第1号  
平成27年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定について

教育のハードとソフト

の充実、自主防災組織の育成支援事業など評価できる面もある。しかし、非正規職員の比率が高く正規職員の負担が重すぎる。同和団体助成金は根拠法が失効している以上廃止すべきである。申請者が1割弱で費用対効果が伴わぬマイナンバー関連の支出は問題である。

《反対討論》小林

教育・健康・福祉・生活基盤や防災、それぞれの分野で限られた財源をもとに効率的・効果的に事業が進められ、暮しやすい安全で安心なまちづくりが図られている。

《賛成討論》上田

本町の財政構造は次の諸点で他自治体に比べて

優れている。財政規模が拡張を続け、弾力性に富む構造を持ち、自主財源の比率が高く、他自治体に比して強い財政力を保持している。

この財政基盤の継続に配慮しつつ、災害復旧復興をめざし、さらに中央公民館や総合スポーツ施設などの夢ある展開を期待する。

《賛成討論》甲斐

【賛成多数で可決】

◇認定第2号  
平成27年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

【全員賛成で可決】

◇認定第3号  
平成27年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

国民健康保険税は高す

ぎて、年金生活者や失業者に重い負担となっている。一般会計から繰り入れを行ってでも税負担を軽くすべきである。

《反対討論》小林

国民健康保険事業は低所得者の加入割合や前期高齢者の加入が多いという構造的問題があり、医療費が年々拡大する中でも健全な運営が行われている。

病気の早期発見や健康管理のための人間ドックへの助成、生活習慣病の予防など医療費の削減も取り組まれている。

《賛成討論》上田

【賛成多数で可決】

◇認定第4号  
平成27年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

【賛成多数で可決】

◇認定第5号  
平成27年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【賛成多数で可決】

◇議案第38号  
平成27年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の承認について

【全員賛成で可決】

◇議案第39号  
平成27年度一般会計補正予算(第5号)について

◇議案第41号  
平成28年度菊陽町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出予算の総額に8億1,773万9,000円を追加、歳入歳出予算の総額を164億8,325万3,000円と定めるもので、数件の質疑後、災害ゴミ受け入れの継続を確認した。

【全員賛成で可決】

◇議案第40号  
平成27年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

8,425万2,000円を追加、総額を42億5,045万7,000円とする。

【全員賛成で可決】

8,544万4,000円を追加、総額を23億9,708万1,000円とする。

【全員賛成で可決】

◇議案第42号  
平成28年度菊陽町下水道特別会計補正予算(第2号)について

【全員賛成で可決】

◇議案第43号  
区域外における他の団体の公の施設の利用に関する協議について

株式会社アイディエスを道明区に誘致するにあたり、下水道を隣接の益城町のマンホールにつなげれば、自然流下が可能となり、下水施設設置費の節減が可能になる。施設利用につき益城町の内諾も得た。両町の議会の議決が必要である。

【全員賛成で可決】

◇発議第2号  
坂本秀則議員に対する辞職勧告決議(案)について

株式会社さんふれあの経営状況についての報告があった。

北山正樹議員外6人の議員が提出。「飲酒・酒気帯び運転をしたら速やかに辞職すべし」との趣旨の申し合わせ事項を決議日にさかのぼって適用すべきである、議会への信頼を回復したい、坂本君の議員継続は議員の公の責務に悖(もと)るものである、を提案理由とした。決議案提出は5回目。

【全員賛成で可決】

◇菊陽町選挙管理委員及び補充員の選挙について  
《選挙管理委員》  
松村秀俊 村上建二  
深水登代美 北岡 清  
《補充員》  
吉村光裕 種村哲文  
堀川正信 酒井 恵

【全員異議なし】

◇報告第3号  
平成27年度決算に基づく菊陽町の健全化判断比率及び資金不足比率について

【異常を認めず健全】

◇報告第4号  
株式会社さんふれあの経営状況について

株式会社さんふれあの経営状況についての報告があった。

# 平成28年第3回菊陽町議会定例会議案に関する各議員の賛否一覧表

## 付議事件

議案第39号	平成28年度菊陽町一般会計補正予算（第5号）について
議案第40号	平成28年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について
議案第41号	平成28年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
議案第42号	平成28年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第2号）について
議案第43号	区域外における他の団体の公の施設の利用に関する協議について
認定第1号	平成27年度菊陽町一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号	平成27年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号	平成27年度菊陽町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号	平成27年度菊陽町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号	平成27年度菊陽町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案第38号	平成27年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
発議第2号	坂本秀則議員に対する辞職勧告決議（案）について

## ■賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数 賛成 反対	大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	坂本秀	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐
			保	俊	本	須	木	岡	本	山	山	秀	原	下	塚	俣	田	林	斐
議案39号	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案40号	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案41号	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案42号	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43号	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1号	認定	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定2号	認定	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定3号	認定	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定4号	認定	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定5号	認定	16:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案38号	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議2号	可決	16:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・承認・認定

※報告は採決がないため削除

# 多彩な質疑と視察

## 常任委員会報告

### 文教厚生常任委員会



北小体育館の修復状況

た利用者等は。

**問** NPO法人きくように体育館及び地域センターの貸館業務を含め委託している。利用者は年間1万71人、利用料金は町内者が2時間200円、町外者が400円である。

#### 生涯学習課

**問** 菊陽町文化財ボランティアガイド補助金及びガイドの実績は。

**答** 補助金は年間10万円、H27年度の実績は年間500回程度、延べ2,000人にガイドをおこなった。

#### 学務課

**問** スクールソーシャルワーカーについて中学校の2校にそれぞれ配置しているのか。

**答** H27年度は武蔵ヶ丘中学の校区に支援を要する児童生徒が多く、同中学の校区を拠点として配置した。

**問** 「使用料及び賃借料」や「工事請負費」に1,000万円以上の不

用額があるが。

**答** 予算を計上する際、概算工事費で計上しその後設計に入ることでその差額である。さらに入札率も加わり不用額が出る。

#### 子育て支援課

**問** 多子世帯支援事業補助金の内容は。

**答** 3人以上の児童を扶養し、3人目以降の3歳未満児の利用者負担額を軽減する事業で県の補助金である。

**問** 来年度（H28年度）の待機児童数の予測は。

**答** H27年度94人、H28年度10人、いづれも4月1日の現状。94人から10人に激減したが、理由は認定子ども園、小規模保育所等の開園による。来年度の予測は人口の流入等により難しい。

#### 町民課

**問** マイナンバーの運用状況を知りたい。

**答** 昨年11月に通知カードの送付を完了。交付件数は8月末現在で2,336件、人口から見ると1割弱が申請している。

#### 福祉課

**問** 民生・児童委員の役割はますます重要になってくる。報酬が少ない気がするが。

**答** 現在町は民生児童委員協議会補助金として約522万円補助、県から1人につき年額6万円弱の活動費を支給。しかし活動はあくまでもボランティア精神であり、民生委員法の規定は給与は支



中部小体育館天井耐震化工事完工状況

給しないとある。

#### 健康保険課

**問** 一般会計から繰出繰入は、法定内と法定外はどうか。

**答** 全額法定内で約2億9,200万円である。

#### 介護保険課

**問** 老人保護措置とは。

**答** 経済的理由や家族の支援がなく、在宅生活が困難な方を町が費用を負担して養護老人ホームへ入所させる措置である。

**問** 扶助費の重度要介護者介護手当はないのか。

**答** 昨年度において、国が明確な基準を示したため該当者はいなくなった。

なお審議の結果、認定事業はいづれも認定すべきと決した。また委員会最終日は武蔵ヶ丘中学校、菊陽北小学校、菊陽中学校を視察した。

### 産業建設常任委員会

委員会に属する平成27

年度一般会計と下水道特別会計の決算に対して、各課より説明と質疑を行い、いづれも全員賛成で「認定・可決」すべきとした。  
答弁の詳細は以下のとおり。

#### 都市計画課

「定住補助金」制度は、南小校区の児童数の減少を防ぐ目的で、本年度は児童が増加し、一定の効果はあると判断している。各行政区への支払っている公園管理委託料は、1㎡あたり45円で、安く管理を委託している。これは、区の活動資金にもなり、町民参画・協働にも合致し、好ましいと判断している。



株式会社アイディエス建設現場の視察

## 商工振興課

原水工業団地は、2区画地を残すのみで、企業からの問い合わせも多い。今後の販売も期待でき、新たな工業団地の造成や拡張を含め、企業の立地意向に素早く対応できる体制を確保していく。

## 農政課

さんふれあは設備の劣化が進行していて、大規模な補修が必要になる。同施設は、国の補助を得た施設なので、あと20〜30年程度運用していく必要がある。今後は当初の目的を拡大するなどして、施設のリニューアルを行っていく。

## 建設課

国からの道路関係補助率は本来は事業費の55%だが、その半分ほどに減っていて、計画どおり道路整備ができない状況になっている。

## 農業委員会

農地の貸し借りは、整備されていない農地などは、なかなかあつせんに結びつかないが、整備されている農地は、担い手

農家等への集約は比較的進んでいる。

## 環境生活課

災害ゴミの廃棄処理費の国の補助は1/2で、交付税に組み入れて支給するととなっているが、町の財政力の状況で判断されるため、実際に交付されるかは難しい状況にある。

## 下水道課

下水道事業の雨水に関しては、公共性があるので一般会計が一部負担をしている。汚水事業は、使用料で運営する必要があるが、使用料収入では賄えなかったため、平成27年度は1億400万円ほどの基準外繰入をした。

不足額を解消するためには値上げが必要だが、改定率などは慎重に検討する必要がある。

## 総務常任委員会

### 認定第1号

平成27年度菊陽町一般会計歳入歳出決算のうち総務常任委員会に属する事項の認定について

### 認定第2号

平成27年度菊陽町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定についてが付託され、2日間にわたり、慎重に審議した。

## 東部町民センター

備品購入費で当初予算以上に支出しているが、ワイヤレスマイク、子供付電話を購入したため。

## 総務課交通防災係

消防団活動助成金とはなにか。  
答 班に対する活動助成金であり、1人あたり9,000円である。

交通安全施設工事などのような道路標示をしているのか。  
答 速度おとせ、急カーブ注意など注意喚起のもので、外側線は建設課。

## 総務課総務法制係

にじの森の公民館設

置で、長年積み立てをして建設する行政区が多いと思うが。

住宅販売の際に各住宅メーカーの販売価格に5万円上乗せしており、土地は町が購入した。

## 総務課人事秘書係

特別旅費について、屋久島町の災害見舞いに行つたのか。  
答 災害見舞いに町長以下3人。産業祭も訪問した。その他に中央省庁へ各種要望で出張している。

## 三里木町民センター

施設使用料収入で西部町民センターとかなりの差があるが。  
答 西部町民センターは、自主講座と貸館業務の支払いで、三里木町民センターは、貸館のみで自主講座からは、徴収していないため。

## 選挙管理委員会

投票所借上料1万円の内訳は。  
答 青葉台、上津久公民館を借りるため、2地区に5,000円を支払っている。

## 総合政策課

国勢調査の報酬額の内訳と回収率は。  
答 国の基準があり、単純に頭割りすると5万3,000円くらいである。

回収は、訪問とインターネットで回答を求めている。インターネットの普及により変化すると思っ

ている。

## 人権教育・啓発課

講師謝礼金が336万円であるが、内訳は。  
答 小中学生に対する集会所学習会、3地区会場にて、小学生週2回、中学生週1回、延べ200回程実施しているため。その他、スポーツ交流、識字学級等も実施している。

人権教育を続ける状況であるのか。近隣自治体との予算の違いは。  
答 現在も起きている最も大きなもので結婚差別があり、今後も継続する必要がある。団体助成金は、近隣2市2町とは、同程度の額である。

## 税務課

町税全体の徴収率、傾向、今後の見通しは。  
答 徴収率は、ほとんど

変わらない。課税額の増加や高額納付があれば別であるが、今後も状況は、変わらないと考えている。

## 財政課

総合スポーツ施設整備基金積立金の目標額の設定はあるのか。  
答 毎年1億円ずつ積み立てている。具体的な目標値はないが、できる限りは、行っていきたい。

自動車で2トトラックを購入しているが、利用方法とメーカーは。  
答 災害時や各種イベントでの運搬作業に使用する。335万円であり、日野自動車が落札した。

## 会計課

パソコンのシステム内容及び委託業者は。  
答 オフィスバンク21というシステムを(株)電盛社に設定してもらいISN回線で行っている。

## 土地取得特別会計議事事務局

質疑なし



上井手の仮修復の現場



小林久美子議員

「一部損壊」被害にも支援を

答 財政面から難しい

**小林** 熊本地震による被害で、罹災証明の状況は申請件数5000件を超えている。その中でも、一部損壊は8割以上である。一部損壊で、瓦などの修理がかなり多額にのぼり経済的な負担が重くなっている。近所の方も、一部損壊で瓦の修理が200万円かかったということであった。一部損壊では、住宅の応急修理や生活再建支援金、災害見舞金など全く出ない。「一部損壊にも行政の支援を」というのが切実な声である。合志市や玉名市などでは、住宅などの復旧工事に、一定の補助が行われている。町でも実施できないか。

**財政面から難しい**  
福祉課長 合志市や玉名市が実施している支援策

は、国の財政支援を伴わない支援である。町としては、国や県の負担がない支援策は、将来この支援が恒久化した時に本町の財政を圧迫するおそれもある。そのため、将来的な財政状況も見極めながら、慎重に検討していきたい。

大災害の今こそ支援を

**小林** 一部損壊でも、点数が18、19点と半壊とかわらない被害もある。判定の仕方がこれでいいのか、一部損壊についても段階的に検討するなど総合的に議論すべきではないか。合志市などで実施していることは、町でも実施可能であると思う。将来のことを考えるのではなく、今の対応が求められている。

ダム建設より復興支援を

**小林** 先日、立野ダム建設現場の視察を行った。現場の仮排水路は流木でふさがり、仮の橋も流されていった。国土交通省は「技術委員会」を3回開催し、「立野ダム建設に問題なし」との結論を出している。私は、もっと地形調査などを行う必要があると考える。今後約500億円の予算がついているが、その予算は、まず「国道の復旧や生活の復興」にまわすべきではないか。

ダム建設を容認

**町長** ダムの安全性については、技術委員会の評価が得られたと思う。



西本 友春議員

今後の防災士育成計画を町はどのように考えているのか

答 日本防災士機構の協力を得て独自に開催することも検討したい

**自主防災組織率について**  
**西本** 組織率81・9%と町としての取り組みが見えるが、最終目標値はどのように考えているのか。  
**総務課長** 全ての自治会で組織されるよう取り組んでいきたい。

防災士育成計画について

**西本** 早い復旧・復興活動への着手と安心感の共有化のために、今後の防災士育成計画を町はどのように考えているのか。  
**総務課長** 熊本地震の直後で、受講希望が高くなるということもあり、日本防災士機構の協力を得て独自に開催することも検討したい。

防災行政無線について

**西本** 災害情報の収集伝達手段であり、情報により早期避難が可能となり、被害の拡大を解消することができる防災無線を避難行動要支援施設及び老人ホーム等への戸別受信機の無償貸し付けは考えられないか。  
**総務課長** 町内の全世帯への無償貸し付けは考えていないが、先ほど老人ホームやグループホーム等への福祉施設への無償貸し付けは検討したい。



総合情報メールサービス

**西本** 大津町は、総合情報メールサービスで、メール機能を利用して携帯電話やパソコンに、生活に役立つ行政情報や観光情報、安心して暮らせるための防災、防犯情報などのさまざまな役立つ情報を迅速に知らせている。菊陽町における導入の可能性は。  
**総務課長** 大津町の総合情報メール「からいもくん」については承知している、大津町から聞いて検証する等して、その辺から始めたい

と考えている。

新たな情報提供について

**西本** SNS等は必要不可欠な情報発信のツールと確信しているが、町は新たな情報提供の方法をどのように考えているのか。  
**総務課長** 情報管理には慎重に対応する必要があり、流言飛語に対する情報の選別のための体制整備や、情報の選別の考え方や基準の整理が必要であるので、SNSでの情報提供については警察等との関係機関と協議して慎重に検討していきたい。

**西本** 情報の扱い方、提供は慎重にやらなくてはならない。物事が発生したときに、誤った情報を否定するにはSNSが必要と考えており、角度を変えた検討を願いたい。  
**総務課長** SNS運用は情報の選別と体制整備も含めて検討していく。





甲斐 榮治議員

### 町づくりの諸課題に対する 取り組みは

**答** 各問いについての答は左の通りである

#### 住民の意見も取り入れる

**甲斐** (仮称)光の森多目的広場は本年度で債務の返済が完了する。使途は決まったか。

**総合政策課長** 年度当初からコンセプトプランニングにかかる予定が震災のために取りかかれなかった。

武蔵ヶ丘中学校のグラウンド拡張に伴う代替地として、また20棟の仮設住宅も建築されたので、向こう2年間はこれらと並行して住民とも相談しつつ計画を立てる。

**甲斐** 旧武蔵ヶ丘支所の跡地は何に使うのか。

**西部支所長** 現在、駐車場は武蔵ヶ丘第一保育園の職員駐車場として、建物は災害用備蓄物資の倉庫として使用中。

将来の使途については町の総合計画等との整合性をはかりながら、住民



旧武蔵ヶ丘支所

#### H30年までには実現図る

**甲斐** 犯罪防止のための警察施設の誘致は進んでいるか。

**総務課長** 町から設置場所や方法等について提案しつつ進めている。熊本市北区と合志市を管轄する新たな警察署ができるH30年度前にはどうにかしたい。

#### 包括支援C・渋滞の緩和

**甲斐** 高齢者がワンストップで困りごとを相談できる包括支援センターの

の意見も取り入れて決定したい。

支所を西部町民センターに設置できないか。

#### 介護保険課長

西部地区においては、武蔵ヶ丘団地シヨッピングセンターにある、ほっとステーションに社会福祉協議会の職員が常駐しており、地域包括支援センターと連携しながら高齢者を支援している。この活動については住民に一層の周知をはかりたい。

**甲斐** 高速道路から東をめざす二つの道路構想の今後及び西部地区の交通混雑を解消する方策は。

**建設課長** 前者は用地の買収等多額の財源を必要とする等から検討はしているが、事業化には至っていない。

交通混雑解消については公共交通機関の充実等混雑の低減策を立てつつ道路の改善は県とも連携して対応する。



中岡 敏博議員

### 避難所運営は適正であったのか

**答** 開設に若干時間を要したが、適切に行った

#### 避難所等の安全確認及び開設の判断は適正か

#### 総務課長

耐震補強をし、職員が安全点検を行ったあとに開錠、開設した。若干時間を要したが、様々な判断のもと適切であった。

#### 中岡

避難所運営訓練の実施や運営ガイドラインの作成をしているのか。

#### 総務課長

HUGなどの訓練は、有効である。また、DIGを昨年、光の森町民センターでの研修会で実施している。避難所運営マニュアルに基づき運営したが、今後は、指定避難所のみならず地区の公民館も避難所として機能を充実させるよう訓練も実施したい。

#### 中岡

大規模災害時には避難所運営に関して公助の限界があるのではないかと、前もって様々な協力者を募る必要はないか。

#### 総務課長

避難所運営は、災害対策本部指揮のもと

全庁体制で取り組んだ。交代制で業務記録を義務づけた。それによると、運営上のトラブルはなかったと認識している。

#### 中岡

各避難所を回ったが、運営の内容、責任者の考えが違うのでは。

#### 総務課長

発災当初は、必ず正職員がついており、1カ月後は、臨時職員が昼間、正職員が夜間の対応を行った。

#### 中岡

救援物資の格差について、どのようにとらえているのか。

#### 総務課長

発災後、指定避難所を中心に給食支援をした。その後、区長等の地域役員に物資の配給をお願いした。3日間は、自分での食糧の備蓄が大事である。

福祉避難所運営やベットの同行避難に対する考え方及び今後の課題は

#### 介護保険課長

地域防災



避難所のような

その他の質問  
○自主防災組織の役割は。  
○青パトの貸し出しは。  
○安全安心掲示板の設置。

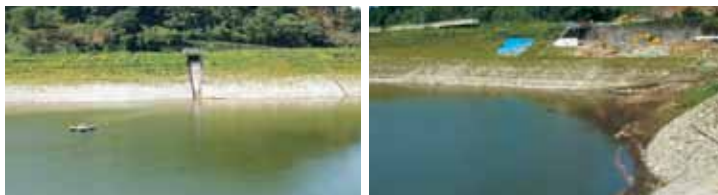
# 研修を実施

## 平成28年熊本地震災害復興支援特別委員会の経過

月	日	曜日	内 容	備 考
6	1	水	議会運営委員会で特別委員会の設置を検討する 議長発議で行う 目的 ①現状把握 ②情報交換 ③国、県等への要望活動 ④復興支援 名称 平成28年熊本地震災害復興支援特別委員会 構成 議長を除く全議員	委員会室
6	2	木	6月定例会 議長発議にて特別委員会の設置が決まる 委員長 上田茂政 副委員長 西本友春	本会議場
6	15	水	第1回特別委員会開催 議題 (1)特別委員会の運営について (2)熊本地震の被害及び被災者への支援について 執行部からの説明	委員会室
7	14	木 AM	第2回 特別委員会開催 議題 (1)意見書案について ・平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る農商工事業者の支援事業の特別な措置を求める意見書案 ・平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書案 ・被災者生活再建支援法の改正を求める意見書案 (2)分科会の設置について 全員賛成	委員会室
		PM	(1)農業用施設の被災状況の現地確認 大切畑ダム・深迫ダム・上井手と取水口 (2)農業用施設の被災状況の説明 土地改良役員	大菊土地改良事務所と現地
8	8	月	第3回 特別委員会開催 議題 (1)熊本地震に起因した相談や離職支援策について ハローワーク菊池 中村統括職業指導官 (2)商工業者の被災状況について ・商工会 布田会長 野上副会長 後藤副会長 ・三里木商工繁栄会 山本会長 ・夢街光の森会 甲斐会長 ・商工振興協同組合 大島会長 ・建築業組合 深山会長 (3)熊本地震からの復旧・復興にむけた取り組みについて 土木建設業協会 甲斐会長 (4)その他 商工会事務局長	大会議室
9	12	月	第4回 特別委員会 議題 (1)振り返り事項のまとめ (2)震災復旧・復興計画策定への取り組み (3)意見交換 (4)各分科会	

おおきりはた

### 大切畑ダム



- ダムからは5ヵ所の取水口があり、通常、貯水量に応じて各取入口から取り入れを行っている。現在では貯水量が低下しており一番下の5番目から取入れている。
- 前回視察の時は満水で、写真右側の堤防が崩壊し流水していたが、今は重機による復旧工事を行っている。
- ダム周辺の歩道もかなり大きく亀裂や段差が発生しており、段差が1m近くのある場所もあった。

## 産業建設常任委員 現地視察状況

平成28年9月9日(金)

### 上井手取水口



- 震災直後は、取水口（左写真）と水門（右写真）に岩と泥が堆積した。
- 水門（右写真奥）と堰はコンクリートと石垣でできており、中央部分も崩壊し取水口への流れが確保されなくなった。
- 堆積した取水口近辺と川の中央部の石等を重機で掘り起すとともに、取水口部分の復旧と崩壊した堰の部分も修復を行った。

### 上井手流域



- 上井手の通水試験日は9月8日(木)。視察は一日後で白川の水は濁りはないが、通水二日目では途中の泥等があり、まだ濁った水が流れている。又、通水量は本年度いっぱいには本格的な通水は行わず消火用の水を確保する程度を流す予定。
- 家の目の前が崩落しており、復旧のための資材待ちで復旧までには数ヵ月かかる見込みである。
- 水路の両サイドは、今年は通水がないためにほとんどが大豆を植えている。

### 下井手流域



下井手流域でも水稲以外の作付けも多くなっている。

### 貯水池：益城第三ファームポンド



- 送水管の通水試験をしたが、深迫ダム手前の益城第三ファームポンドの貯水池には届いていない。
- 貯水池の水は緑色をしており、大切畑ダムからの水が届いても現状の水は畑には撒けないために、現在の水を廃棄してから新しくきれいな水でないとい用できない。
- 大切畑ダムから深迫ダムへの送水管通水試験日 9月5日、6日

おおきりはた  
大切畑ダム



1. ダムの堤防左側側面が崩壊していて、そこから下流の方に流れ出ている。
2. 今は梅雨明け前なのでダムから溢れるほど水をためている状態。
3. ダム横の橋そのものは崩壊していないが、側道と道路は大きく陥没し段差が1メートルほどあり、復旧工事の大変さを感じられた。

ふかさこ  
深迫ダム



1. 平成28年度の水は供給できるが来年度の供給は、大切畑ダムからの地下送水管を通水してからの供給がこないと不可能となる。
2. 熊本県は、8月～9月にかけて、故障している送水管を復旧し、通水試験を行うとのこと。
3. 供給ができなくなると、白水大地にボーリングをして供給するしか方法がない。
4. 通水できたとしても、ダムの防水シートが劣化しており、全面張り替えとなると多額の費用が必要となる。
5. ダム利用に伴う修復費等を総合的に考えると、ボーリングを行い新たな管路を作り農家に提供した方が安くつくのではないのかという意見があった。



下井手取水口

1. 地震発生直後は、取水口の近くに泥がたまり、撤去作業に1日かかった。
2. 6月末からの豪雨で、松などの流木が取水口の入り口付近に詰まっている。
3. 重機を用いて撤去する。

上井手取水口は規制のために視察できず

## 大菊土地改良区研修

【家入理事長】 H28.7.14 大菊土地改良区2F会議室

1. 白水台地の水の問題は土地改良区としても大きな課題で、大切畑ダム・深迫ダムについて森山農水大臣及び農水省関連、九州農政局、県の方にも出向いて打合せを行った。県としても水の責任はとるとのことで、8月中には九州農政局と打ち合わせ、12月には負担金を含む色々な問題について、国に最終的な意見を述べた後に地元説明に入る流れ。
2. 上井手・下井手は本工事での復旧で政府の農業農政部会が調査すると共に工事状況の確認も行う。

【各理事から】

1. 大切畑ダム～深迫ダムまでくることの説明だったが、深迫ダム～白水大地までの本管工事は老朽化で毎年4～5カ所を修復しなくてはならない。全面的修復には試産的に16億円で

何年かかるか解らない状況である。行政の補助を受けながら土地改良区も負担している。大切畑ダムは5つの取水口があり、現状維持では下部取水口からの水はこない。白水台地は340haで来年の1月までに水がこなければ農業経営が成り立たない。白水台地は水が命。人も水が命であるから県政への訴えをお願いしたい。

2. 皆で協議して出てきたのが、安定した水源の確保が一番であるということで。深迫ダム～白水大地の4.3kmの本管やり替えを個人負担と言っても、とても無理な状況がある。また、新たな水供給のため、井戸を掘って、きれいな水の利用が可能である。現在、試算しているが、ダム存続よりは負担が軽減できるのではないかと思われる。白水台地は安定した水の供給を大前提として考え、協議をしている。十分御理解いただきながらよろしくをお願いしたい。

【各関係団体の意見や要望を聞き取り】 H28.8.8 商工事業被害 2F会議室

1. 雇用調整は難しく、売上が落ち、赤字の中で雇用の確保を行っている厳しい現状がある。
2. 炊き出しをしたかったが、行っていいのかわいのか情報が取れずとまどった。
3. グループ補助金を申請しようとしたが2社のために、他のグループに入れて頂き申請ができた。
4. 現在、地域自治体との連携を進めている。
5. カレンダーを作成したいので、配布については行政の力を借りたい。
6. 被災直後に行政からの依頼で、屋根のブルーシート張り等の作業を協力したが、今後2回目のブルーシート等の張り替え等の作業に対する人員確保が難しいのと、日当も考えていただきたい。
7. 業界における若い担い手がいないので苦慮している。
8. 資材の調達で費用が高くなっており、工事価格より仕入れ価格が高くて工事を請けたら赤字となる。
9. 解体は9月頃から着手するが、現在、菊陽町では200件近くになり、なかなか先が見えてこないのが実状である。

## 平成28年度2回菊陽町議会定例会(6月議会)

### 付議事件

承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(菊陽町税条例等の一部を改正する条例の制定)
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(菊陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて(菊陽町災害見舞金支給条例の一部を改正する条例の制定)
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度菊陽町一般会計補正予算(第6号))
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度菊陽町一般会計補正予算(第1号))
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度菊陽町下水道事業会計補正予算(第1号))
議案第32号	平成28年度菊陽町一般会計補正予算(第2号)について
議案第33号	平成28年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
議案第34号	町道路線の認定について
報告第1号	平成27年度菊陽町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について
報告第2号	平成27年度菊陽町下水道事業会計予算繰越計算書について
諮問第1号	人権擁護員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

### ■賛否表

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本俊	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	坂本秀	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐		
		賛成	反対																			
承認2号	承認	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
承認3号	承認	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
承認4号	承認	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認5号	承認	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認6号	承認	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認7号	承認	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案32号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案33号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34号	可決	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問1号	適任	17	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第28年第1回菊陽町議会臨時会(7月14日(木))

### 付議事件

議案第35号	平成28年度菊陽町一般会計補正予算(第3号)について
発委第1号	平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る農工商業者の支援事業の特別な措置を求める意見書案について
発委第2号	平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書案について
発委第3号	被災者生活再建支援法の改正を求める意見書案について

## 平成28年第2回菊陽町議会臨時会(8月8日(月))

### 付議事件

承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(菊陽町介護保険条例の一部改正する条例の制定)
議案第36号	平成28年度菊陽町一般会計補正予算(第4号)について
議案第37号	工事請負契約の締結について(菊陽北小学校校舎増築工事(建築))

平成28年第1回、及び第2回菊陽町議会臨時会は両会とも全員賛成で可決・承認された。

## 光の森 秋祭り

10月8日(土)



10月8日(土) 第4回となる、夢街光の森会主催による「光の森 秋祭り」が、光の森町民センター「キャロピア」にて開催されました。

開始時刻頃から、あいにくの雨となりましたが、それでも多くの方が来場されステージや屋台を楽しまれています。

「光の森 秋祭り」の運営は、夢街光の森会(現在80の企業が参加)の会員だけでなく、地域の方々のボランティアにも支えられながら、地域で一体となった運営で開催されています。

また、光の森地域だけでなく、菊陽町全体の活性化や地域間の懸け橋になりたいとの願いを込めたイベントを開催したいという思いで取り組まれています。

昨年からは、紙灯籠の制作・展示を行っており、たくさんの子どもの作品を並べてキャロピアの体育館内で展示され、点灯式は幻想的な雰囲気にも包まれています。

夢街光の森会の甲斐会長は、「来年も、更に地域の活性化につながる催しを企画したい」と話されていました。



## プロゴルファーが菊陽南小学校へ

9月26日(月)

### 子どもたちのお話し



菊陽南小5年 神崎 桐子さん  
スナッグゴルフはむずかしかったけど、点に当たってよかった。記者の人たちが石川選手とか重永選手をとるカメラの音がすごかった。

菊陽南小5年 堀部 智世さん  
スナッグゴルフをする前は、うまくできるか心配でした。『ローラー』とか『ランチャー』を練習しました。最後に2人のプロと対決する時、私は少しこわくて手をあげませんでした。でもしゅうたろう君もぎんじ君もじょうずでびっくりしました。夢を持つのお話を聞いて、石川プロは小1から、重永プロは小3からずっと今までゴルフ続けているので、とてもすごいと思います。私もこれからいろいろ挑戦していきたいと思いました。



気温30度を超える暑さの中、熊本地震の被災者支援のために菊陽町出身の重永亜斗夢選手と石川遼選手が菊陽南小を訪問。

4~6年生42人とスナッグゴルフなどで交流しました。

2人が力強いショットを飛ばすと、「すごい」「めっちゃ飛んだ」などの歓声が上がりました。その後、教室で児童たちと給食のカレーを食べました。

重永選手は「子ども達がすごく喜んでくれた。あの笑顔を見ていると、自分がゴルフで活躍するのはもちろんですが、こういうふれあいをこれからも続けていきたい」と語りました。

午後からは両選手が『夢を持つとう』と題して、夢を持つことの大切さを語りかけました。



# ありがとうございました

## 災害時緊急対応をされた皆様 特集①

第1回目は、屋根にブルーシートを掛ける作業を被災者でありながら、ボランティアで活動をしてくださいました、皆様を代表して、菊陽町建築業組合の深山組合長に話を聴きました。

大変な作業であったと思いますが、どのようなことに気がつけたか、聞かせて下さい。



困ったことでは、屋根の上の作業であるためケガをしてはいけませんが、安全第一を念頭におき保険に加入し慣れている、慣れていないに関係なく協力しあい、困っている町の皆さんのためにがんばりました。

普段の仕事をしながら、どのような流れで取り組んだのでしょうか。

5人で1班、これを4班くらい、限られた人数でありましたが、皆さん一生懸命手伝ってくれました。約200件余り、1ヵ月間作業し、その他に台風、大雨に備えて2次被害防止のための作業が困難でとても大変でした。

うれしかったエピソードは、ありませんか。

シートを掛けに行った家の方が、私の家まで来てくれて、助かりましたとお礼の言葉や料金を支払いますありがとうございますとの言葉は、当然断りましたけどね。とにかく、うれしく思いました。

ボランティアセンター 甲田様より

雨が降りず濡れ、炎天のもと瓦が焼けている状況でも休まず連日汗だくになりながら作業をしてくださいました。(1回目171件、2回目189件)

各家庭からも多くの感謝の言葉を頂きましたご協力まことにありがとうございました。



# 仮設団地の声



代表者 酒井 道治さん

7月に入居が始まり3ヵ月が過ぎました。現在19組の家族が入居されています。仮設住宅で特に困ったことはありません。

談話室(写真中央)が完成し10月2日町からは町長、副町長他4人が出席し入居者総会を行い、最初にルールを決めました。

特に駐車場の場所とゴミ出し日程を参加者全員で確認をしました。

談話室には日本青年会議所、熊本県設計コンサルタント協会などからテレビや冷蔵庫が贈られ、AEDやキッチン、トイレも装備されており満足しています。設備も充実しているので交流の場として多くの人に利用してもらいたいと思います。



### ●酒井代表の意見

まずは、お互いに挨拶を大事にし、心の窓を開きたいです。更なる交流を深め支えあいながら立ち直りたいと思っています。そして1日も早い復旧、復興を待ち望んでいます。



## 表紙の紹介

10月8日(土)に鉄砲小路地区の農道で開催された、熊本車いすふれあいジョギング大会の1シーンです。

## 編集後記

阪本 俊浩

熊本に壊滅的な被害をもたらした未曾有の大震災から早いもので半年が過ぎましたが、町民の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。被災されました皆様方には心よりお見舞い申し上げます。

思い返せば、H24年7月の九州北部豪雨、昨年8月の大型台風の影響、4月の熊本地震、10月8日の阿蘇中岳爆発的噴火など大自然的な猛威を感じられずにはいられません。

このような中、町では災害復旧、復興計画を策定中であり、議会も町と一体となり「災害に強い町づくり」を目指し、今回の教訓を生かして今後町民の生命、財産を守るべく防災に努めております。

さて、今回の「議会だより」ですが、農業一筋だった私には畑違いで荷が重く、いつものことですが他の委員さんたちのご指導を仰いでおります。読みづらい所もあるかもしれませんが、6人で力を合わせて作成しました。ご意見などあればお聞かせください。お待ちしております。

### みんなの議会 傍聴は、お気軽に

#### 議会からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に何うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

#### 発行責任者

議長 渡辺 裕之  
副議長 甲斐 榮治  
委員 中岡 敏博  
委員 佐々木 理美子  
委員 那須 眞理子  
委員 阪本 俊浩  
委員 大久保 輝

この議会だよりは再生紙を使っています。